

校番 35	福山市立 藤江小 学校
-------	-------------

1 学校目標

自分を大切に、他人を大切にする子どもの育成

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

自分を高め、人の為に尽くす人間力を持った、社会の担い手を育てる。  
 子どもたち・保護者・地域の人々に学ぶ姿勢を持つ。  
 教育の専門職としての見識を深め、指導力を培う。  
 子どもたち・保護者・地域の人々の信頼を築く。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

知・徳・体の基礎・基本獲得による「生きる力」の育成のために、三つの子ども像(校訓)の実現を目指す。  
 進んで学び・働く「誠実」な子ども  
 心優しい「親切」な子ども  
 心も体も強い「勇敢」な子ども

3 自校の現状分析

基礎学力について、前年度に実施した標準学力検査の学校全体の到達度は全国正答率を100%としたとき、国語95.6%・算数97.7%・総合的な読解力は98.6%であった。基礎学力は概ね定着しているが、そのうち「書く能力」や「内容理解」、「表やグラフの読み取り」や「図形の定義」等に課題が見られた。また、学校アンケートでは学習習慣は身につけているが、生活調査において、テレビやゲームの時間が長く、読書の時間が短い等、経年の課題が見られた。

心の豊かさについて、本校が目指している三つの子ども像の達成度は前年度「誠実」度78%(77%)・「親切」度92%(81%)・「勇敢」度85%(71%)であった。学期毎の短期テーマの設定や生活ふり取りカードで、その内容を児童・保護者と共有し、道徳性、ルールとマナーの向上をさせていく。

数字%は、児童アンケート結果、(数字%)は、保護者アンケート結果

4 研究主題

(1) 研究主題

研究主題  
 「確かに読み取る力の育成を目指した国語科学習指導のあり方」  
 ~読解力の育成を目指して~

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
市	教育研究支援事業(国語科)	2011年(平成23年)4月 ~2014年(平成26年)3月

5 今年度の重点目標と設定理由

重 点 目 標	設 定 理 由
各教科・領域等を貫く言語活動を充実し、ことばの教育の一層の推進を図る。(学んだことを活用する。) 三つの求める子ども像にせまる道徳性を育てる。	説明的文章での読解の基礎理論を研究し、読むことと書くことを関連させ説明的文章で読み取ったことを書く活動に活かし、論理的思考力や表現力(論述)を育てていく。 総合単元的な道徳学習の実践を通して、道徳的価値の定着をより確かなものにしていきたい。

6 評価規準

評 価	基	準
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

## 7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	( ) 評価	評価項目・指標等 ( 成果 取組み 成果と取組み に着目 )	( ) 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況
確かな学力	2	確かな指導力を 培い、分かる授業 を追究する。		継続	国語科で評価読みを取り 入れた説明文の指導を行 い、読解力を育てる。		説明的文章の単元テストにおいて正答率8 8%以上にする。			
				新規	算数科で問題解決型学習 を進め、思考力を育てる。		単元末テストにおいて正答率80%以上にし る。			
				継続	主体的な学習習慣を育て る。		「藤江小学校家庭学習のてびき」が目指す学 習のめやすの達成率80%以上にする。(やりき り週間) 家庭読書に取り組み、各学年目標達成人数を 80%以上にする。			
豊かな心	2	総合単元的な道 徳学習を通して、 道徳的実践力を 育成する。		継続	三つの子ども像(誠実・ 親切・勇敢)にせまる道 徳性を育てる。		自分の役割や係活動をやりきる児童80%以 上にする。 大きな声でしっかりあいさつをする児童8 5%以上にする。 ねばりづよくやりとげる児童80%以上にす る。(学期ごとの児童自己目標に対して)			
				新規	生活リズムが確立してい る児童を85%以上にす る。(見取り)		生活振り返りカードの実践を工夫し、メディ アコントロール達成率85%以上にする。			
				新規	新体力テスト県平均以上 を96項目中60項目以上 にする。		サーキットやパワーアップタイム時に工夫し て新体力テスト課題項目(立ち幅跳び)アップ に取組む。			
力量ある教職員	3	教育の専門職と しての見識を深 める。		継続	説明的文章の読解指導の あり方の研究を深める。		本校研究テーマにそった研究会・研修会に2回 以上参加し、レポート報告をし、学びの還元内容 を明らかにした自主公開授業を一回以上する。			
市民に信頼される 学校	1	自己設定目標を 100%達成す る。		新規	不祥事防止委員会を活用 し、教育公務員としての 意識を向上させる。		不祥事防止委員会と連動させ、学校管理運営に おける研修を計画的に工夫して行い、教育公務員 として気づきが持てる研修を積み上げる。			